

科目名	看護研究			分野・必選別・単位数	共通科目	必修	2単位
担当教員	◎教授 南川雅子 教授 林さとみ						
課程	博士前期	配当年次	1年	配当学期	前期	授業方法	演習
授業の概要	多様な看護事象を解明し、看護実践に有益な成果を生み出すための、倫理的配慮が確保された研究方法を修得する。						
授業の到達目標	①研究を行ううえで基本的、かつ重要な概念と用語を説明できる。 ②研究を推進するうえで必要となる倫理的配慮について説明できる。 ③量的研究および質的研究のさまざまな研究デザインについて説明できる。 ④量的研究および質的研究のさまざまなデータ収集方法について説明できる。 ⑤研究で得たデータの質を評価するための基準について説明できる。						
授業計画	回数	担当者		行動目標			
	1	南川 雅子	教授	看護研究概説、研究における重要な概念と用語 研究を行ううえで基本となる概念と用語について説明できる。			
	2	南川 雅子	教授	研究プロセスの概観 研究課題をみつけてから成果を発表するまでの一連の過程について説明できる。			
	3	南川 雅子	教授	概念枠組み、仮説 概念枠組みや仮説を設定する意義を説明できる。			
	4	南川 雅子	教授	看護研究における倫理的配慮 研究対象者の安全や尊厳を保護するための倫理的配慮について説明できる。			
	5	南川 雅子	教授	量的研究デザイン(1) 実験研究・準実験研究の特徴、メリットとデメリットについて説明できる。			
	6	南川 雅子	教授	量的研究デザイン(2) 実態調査研究・仮説検証型研究の特徴、メリットとデメリットについて説明できる。			
	7	南川 雅子	教授	量的研究デザイン(3) 方法論的研究の特徴、メリットとデメリットについて説明できる。			
	8	林 さとみ	教授	質的研究デザイン(1) 質的研究の種類と、各質的研究の理論的背景について説明できる。			
	9	林 さとみ	教授	質的研究デザイン(2) エスノグラフィー方法におけるデータ収集と分析方法について説明できる。			
	10	林 さとみ	教授	質的研究デザイン(3) 現象学的方法におけるデータ収集と分析方法について説明できる。			
	11	林 さとみ	教授	質的研究デザイン(4) グラウンデッドセオリー方法におけるデータ収集と分析方法について説明できる。			
	12	林 さとみ	教授	質的研究デザイン(5) 他の質的研究方法におけるデータ収集と分析方法について説明できる。			
	13	林 さとみ	教授	質的研究デザイン(6) 質的研究と量的研究の違いについて説明できる。			
	14	南川 雅子	教授	研究論文のクリティーク(1) 量的手法を用いている研究論文を科学的な視点でクリティークする方法について説明できる。			
15	林 さとみ	教授	研究論文のクリティーク(2) 質的手法を用いている研究論文を科学的な視点でクリティークする方法について説明できる。				
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	指定したテキストの次回授業部分を事前に読んでおくこと。 次回の授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。					
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、教科書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要。					
教科書	Polit,D.F.&Beck,C.T.(2004):Nursing research, Principles and methods,J.B.Lippincott Company, Philadelphia./近藤潤子監訳(2010):看護研究－原理と方法, 医学書院。						
参考書	南裕子編(2017):看護における研究 第2版, 日本看護協会出版会。 谷津裕子(2014):Start Up 質的看護研究 第2版, 学研。 Lyn, Richards & Janice M. Morse(2008):はじめて学ぶ質的研究, 医歯薬出版株式会社。 北素子, 谷津裕子(2009):質的研究の実践と評価のためのサブストラクシオン, 医学書院。						
成績評価の方法および基準	口頭発表と質疑応答40%、レポート課題60%で評価する。						
その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP2、DP3、DP4が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。						